

分子細胞機能学セミナー

(病態生化学領域セミナー)

1. 講師 北原秀治 先生
講師所属： Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital,
放射線腫瘍科エドウィンステイール腫瘍学研究室
2. 演題 有効ながん治療のための腫瘍内微小環境の再構築
3. 日時 平成 29 年 4 月 4 日 (火) 17:00～19:00
4. 場所 共用セミナー室 10 (M&D タワー8 階)
5. 要旨

腫瘍はその増殖のために、酸素や栄養分の供給が不可欠であり、複雑な分子経路を利用して自身に有利な環境を形成している。特に新生した腫瘍血管は、正常組織の血管とは形態や機能が大きく異なっており、低酸素、低 pH 状態を作り出し、癌の浸潤と治療への耐性を引き起こす。また、これらの異常な環境が、宿主免疫力の阻害などの不都合を生じさせていることも報告されている。近年、この腫瘍血管を含む腫瘍微小環境をターゲットにした分子標的治療薬の開発が注目を浴びているものの、その治療法は未だ確立されていない。われわれは、腫瘍血管を含むこの腫瘍微小環境を、一時的に正常化できると考え、この正常化の間に、化学療法、免疫療法、放射線療法を行なう事で、最大限の治療効果が得られると仮説をたてた。これらの仮説をもとに様々な消化器系モデルを中心に研究をおこなっている。それらの研究結果を、解剖組織学的観点から、過去に発表された論文を交えて報告する。

担当分野 分子細胞機能学分野 担当者 吉松 康裕 (内線 5449)
(共催：硬組織病態生化学分野)